

# Funehiki High School News vol.188

## ～がんばる船高生～ **ATTENTION!**

### 第68回 美術部 岡田香央里さん・坪井琢真さん・長谷川千紘さん

田村警察署の依頼により作成されたポスターがポケットティッシュのデザインに採用された美術部3年の岡田香央里さん（大越中）、2年の坪井琢真さん（常葉中）と長谷川千紘さん（滝根中）の3人に話を聞きました。

—どのような経緯で、作成することになりましたか？

岡田さん 田村警察署から高校生の視点で「少年非行と被害防止・地域安全」に関するポスターの作成依頼があったため、私が「なりすまし詐欺被害防止」、坪井さんが「薬物乱用防止」、長谷川さんが「個人情報の取り扱い」についてのポスターを描くことになりました。

—ポスターを作成するにあたって心がけたことは何ですか？

坪井さん 薬物乱用は絶対に行ってはいけない行為であることを第一に伝えたかったので、赤字で注意喚起を促しました。また、薬物に染まった人の手を描くことで薬物乱用者がいなくなってほしいとの願いを込めて描きました。

長谷川さん 情報量が多いと伝えたいことが分かりにくくなるため、ポスターに込める情報を絞り、どうすれば個人情報の特定につながるのかということを知りやすく伝えられるように意識して作成しました。

岡田さん より高齢者の方に注意喚起ができるように心がけて作成しました。絵だけでは伝わらない部分はメッセージで伝えようと思いました。インパクトを強く効果的なメッセージになるように工夫しました。

—実際に完成したポケットティッシュを手にした感想を教えてください。

岡田さん・坪井さん・長谷川さん 今まで校内の依頼に対して作成したことはありましたが、初めて外部からの依頼に応じて作品制作をしたので不安がありました。しかし、実際に私たちが描いたポスターが採用され、ポケットティッシュとして多くの市民に配布されていることを知り、とてもうれしい気持ちになりました。そのことで、自分の描いた絵が住民生活の役に立っていることを実感できました。ぜひ多くの人目に触れ意識を促すことで、犯罪防止につながってほしいと思います。



▲左から坪井さん、岡田さん、長谷川さん



▲デザインしたポケットティッシュ

## ◆市文化センターで「デュアル実習成果発表会」を開催しました！

本校の教育活動であるデュアル実習は本校と田村市、地元企業が連携して町ぐるみ、地域ぐるみで子どもたちの学びを支援するシステムです。生徒は授業の一環で一年間を通して週に1回市内の企業や施設で実習を行うことで職業観や勤労観を身に付けています。

2月17日にはデュアル実習成果発表会を開き、2年生9人、3年生11人のデュアル実習生がこれまでの実習の取り組み内容や成果を発表しました。実習先の企業の皆さまをはじめとして多くの方々に出席いただきました。実習生たちには、この経験を糧に次のステップに向けてさらなる飛躍を期待しています。



初めてのデュアル実習  
～1年間を振り返って～

(終わり)



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233  
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...[funehiki-h@fcs.ed.jp](mailto:funehiki-h@fcs.ed.jp)



Allison Clay  
アリソン・クレイさん  
(アメリカ合衆国  
オハイオ州出身)  
田村市に来て6年目

### いろいろな始まり

全ての物事には「始まり」と「終わり」があります。それはとても重要なことで、古いものを置いて、新しいことを始めるきっかけになります。一年や年度、学校の前期・後期などの一定期間の「始まり」と「終わり」があることで、より始まりのきっかけを作りやすくなります。

土地が変わると、始まりと終わりがいつなのかのルールも違ってきます。アメリカと日本の違いを比べてみました。

新年はアメリカと日本で1月にあり、世界のほとんどの場所でも同じです。アメリカでは、4月は一年間の単なるひと月でしかありませんが、日本では、学校の新年度の始まりの月だと

知って驚きました。でも、私はなぜ新年度が4月から始まるのかは、なんとなく理解できませんでした。それは、冬が終わりに近づき、新しい花や新緑が活気づくからです。

アメリカでは、学校の新年度は9月に始まります。新しいことが始まる月には思えませんし、むしろ終わりが近づいているように思います。夏が終わる、秋がやって来て収穫の季節になります。日本の新年度は新しいことと同時に始まるように思え、アメリカの新年度は成長の



最後、全ての終わりは、また始まりだと分かったことはとても興味深かったです。

しかし、私は教師としてどちらにも利点があると思います。結局、子どもたちは植物に少し似ているようです。私たちは、植物に水や肥料を与えるように、折りや願いと共に注意深く彼らの成長を助け、成功して自分になりたいと思う最高の人間になって欲しいと思います。

広告欄 Advertisement

## 有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117)へ